東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所

不適合情報

2021年2月17日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード O件
- 2. G II グレード O件
- 3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1		循環水ポンプ建屋内(非管理区域)の南東側壁面上部および循環水ポンプ(B)西側壁面上部のルーフドレン配管に、雨水の漏水を確認した。当該箇所を点検・修理。	2021/02/15	
2	7号機	可燃性ガス濃度制御系の二号使用前事業者検査の手順などを検討するため、事前確認として可燃性ガス濃度制御系再結合装置(A)を起動したが、ヒーター温度が上昇しなかったため装置を停止したところ、異常を示す警報の発生を確認した。現場確認の結果、機器保護のためヒーターのケーブルが解線状態のまま保管されていたことを確認した。当該ケーブルを結線し、設備に異常のないことを確認。	2021/02/10	